

令和4年度版

令和4年度
国立科学博物館 大学パートナーシップ
入会のご案内



**Partnerships
with
Universities**



国立科学博物館

はじめに

科学技術と社会が密接不可分な関係になっている今日、日頃から科学技術について興味・関心を持ち、自らの問題として意識していくことは、科学技術の健全な発展のためにも、21世紀を豊かに生きていくためにも必要です。

「国立科学博物館 大学パートナーシップ」事業は、大学等学校と国立科学博物館が連携して様々な活動を展開していく事業です。常設展示の無料入館や各種講座の優先受入れ等を通じ、文系・理系を問わず全ての学生の皆様の科学リテラシー向上と豊かな感性の涵養に貢献できると考えています。平成17年度に21大学で始まった本事業は、令和4年1月現在では75校にご入会いただいています。

当館は「日本列島の自然と私たち」をテーマとする日本館、「地球生命史と人類」をテーマとする地球館の展示を合わせると、10,000㎡を超える展示面積を有しております。この常設展示におきましては、最新の研究成果を取り入れ、常に新しい情報を提供すべく、随時展示更新を行っております。

また令和4年度の特別展・企画展では、「宝石展」「化石ハンター展」等を開催する予定です。

残念ながら令和2年以降は、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から、当館も臨時休館や入場制限など、従来どおりに来館者を迎えることが難しい状況となりましたが、そのような中でも令和3年度は12月までの間に、2万人を超える学生の皆様にご利用いただいています。

今後も来館者の安全を第一とし、感染拡大防止のために必要な措置を講じた上で、様々なサービスを提供して参りますので、ぜひ大学パートナーシップ事業にお申込みいただき、各種制度をご活用いただければと考えております。

当館は、今後とも社会に根ざし、社会に支えられ、社会的要請に応える博物館として、大学をはじめとした社会の様々なセクターと連携・協働する博物館を目指して参ります。

令和4年1月

独立行政法人 国立科学博物館



国立科学博物館のロゴマークのご紹介



「想像力の入口」
全体の形は、リズムカルな放物線を描き、恐竜やサメの歯、門のように、また、個々の形は、花びらや炎が揺らめきながら広がっていくように見えます。このように、このマークは人々に様々な想像を促します。

国立科学博物館 大学パートナーシップのロゴマークのご紹介



Partnershipの頭文字「P」を重ね合わせ、双葉の形をデザインしました。双葉は、力強く伸びていく様子を表しています。大学と国立科学博物館の連携による大学パートナーシップ事業が発展し、学生の科学リテラシーやサイエンスコミュニケーション能力が向上するようお願いを込めています。

連携事業のご紹介

国立科学博物館は、学生数に応じた一定の年会費を納入した入会校の学生のために、次の連携プログラムを用意いたします。

1. 常設展の無料入館と特別展の630円引



常設展

入会した大学等の学生は、学生証を提示することにより、以下の施設へ無料で何度でも入館（入園）いただけます。また、授業の一環で学生を引率して来館した教職員の方は、職員証等の提示により常設展が無料となります。

国立科学博物館（上野公園）

〒110-8718 東京都台東区上野公園 7-20



展示面積は約11,300㎡で、科学系博物館において国内最大規模を誇ります。良質で豊富な実物標本資料を中心に、フロアごとに展示テーマを設け、常設展示のメインメッセージである「人類と自然の共存をめざして」を、体系的にわかりやすく伝えられるような展示構成を特徴としています。平成20年度には、日本館が重要文化財に指定されました。通常入館料:630円

※令和4年1月現在、上野本館の入館にはオンラインによる事前予約が必要です。最新情報は国立科学博物館ホームページ(<https://www.kahaku.go.jp>)をご覧ください。

附属自然教育園（東京都港区）

〒108-0071 東京都港区白金台 5-21-5



大都市「東京」の中心部にあって今なお豊かな自然が残る、都会の中の貴重な森林緑地です。園内には、落葉樹、広葉樹、草はら、池や小川などがあり、四季にわたって様々な草花や野鳥などの生き物を身近に観察できます。また、日曜観察会、自然観察指導者研修、自然史セミナーなど、学習支援活動も行っています。通常入園料:320円

筑波実験植物園（茨城県つくば市）

〒305-0005 茨城県つくば市天久保 4-1-1



自然の景観と植物多様性を凝縮した約14万㎡の園内は、「世界の生態区」と「生命を支える多様性区」の2つに分けられ、約3,000種の植物が展示されています。収集保全している植物をもとに、世界の様々な植生環境を再現し、植物の形態や多様性を体験的に学習できるような展示植栽を行っています。各種学習支援活動も行っています。通常入園料:320円



企画展

日本館1階の「企画展示室」等にて開催する、当館の研究者が中心となって企画する展示です。常設展内の展示であり、パートナーシップ入会校の学生は無料でご覧いただけます。

令和3年度 開催例

「メタセコイア ー生きている化石は語る」 令和3年1月26日(火)～4月4日(日)

「東日本大震災から10年 ーあの日からの地震研究ー」
令和3年3月9日(火)～4月11日(日)

「小惑星探査機『はやぶさ2』 ー小惑星リュウグウからのサンプルリターンー」
令和3年3月27日(土)～4月11日(日)

ご生誕120年記念企画展「昭和天皇の生物学ご研究」
令和3年4月20日(火)～6月20日(日)

「日本の海洋調査への挑戦とあゆみ ーJAMSTEC創立50周年記念ー」
令和3年6月29日(火)～令和4年3月21日(月・祝)

「加速器 ーとてつもなく大きな実験施設で宇宙と物質と生命の謎に挑んでみたー」
令和3年7月13日(火)～10月3日(日)

国立科学博物館・竹中大工道具館共同企画展「木組 分解してみました」
令和3年10月13日(水)～11月24日(水)

「発見！日本の生物多様性 ～標本から読み解く、未来への光～」
令和3年12月14日(火)～令和4年2月27日(日)



特別展

地球館の「特別展示室」にて開催される展示です。パートナーシップ入会校の学生は、特別展入場料(一般・大学生)から常設展示入館料630円(税込)を引いた金額でご覧いただけます(割引券との併用不可)。開館時間や休館日、入場料、予約方法等の詳細は決定次第、公式サイトでお知らせします。

令和3年度 開催例

「大地のハンター展 ～陸の上にも4億年～」 令和3年3月9日(火)～6月13日(日)

「植物 地球を支える仲間たち」 令和3年7月10日(土)～9月20日(月・祝)

「大英博物館ミイラ展 古代エジプト6つの物語」
令和3年10月14日(木)～令和4年1月12日(水)

今後の開催予定

「宝石 地球がうみだすキセキ」 令和4年2月19日(土)～6月19日(日)

「化石ハンター展 ～ゴビ砂漠の恐竜とヒマラヤの超大型獣～」
令和4年7月16日(土)～10月10日(月・祝)



特別企画展

全国の博物館を巡回している「ポケモン化石博物館」が科博で開催。パートナーシップ入会校の学生は、特別企画展入場料(一般・大学生)から常設展示入館料630円(税込)を引いた金額でご覧いただけます(割引券との併用不可)。入場料、予約方法等の詳細は決定次第、公式サイトでお知らせします。

「ポケモン化石博物館」 令和4年3月15日(火)～6月19日(日)



2. 各種講座等の優先的受入れと、受講料減額

諸事情により、事業の実施を延期または中止することや、内容等の変更を行うことがあります。また、対面形式で実施する事業でも、諸事情により一部または全部をオンライン形式で実施することがあります。



サイエンスコミュニケーター養成実践講座

科学と社会との架け橋となるサイエンスコミュニケーター養成のための実践講座です。令和4年度はオンラインと対面を組み合わせる予定としております。

- ・入会校の学生を優先的に受入れます。
- ・入会校の学生は通常の半額で受講いただけます。

- サイエンスコミュニケーション1(SC1):コミュニケーション能力の育成
- サイエンスコミュニケーション2(SC2):コーディネーション能力の育成
- SC1、SC2の両科目を修了すると「国立科学博物館認定サイエンスコミュニケーター」認定証を授与

※対象は大学院生です。

※当講座を大学院の教育課程に応じて大学院の授業科目として行い、単位認定することも可能です。

※開催時期、受講料、コマ数、実施方法等については令和4年4月以降に発表予定の募集要項をご確認ください。

対面形式での実施例（令和元年度）

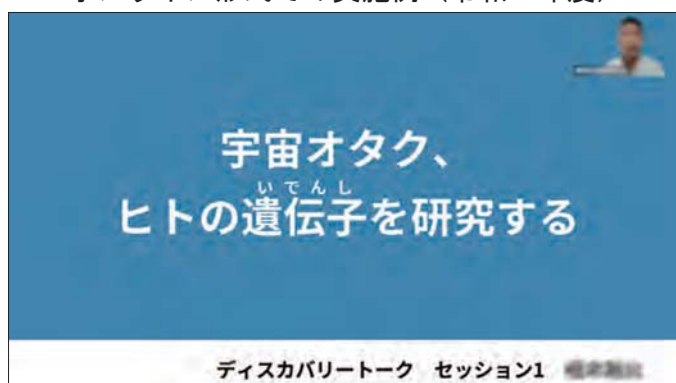


(SC1: 受講者によるディスカバリートーク)



(SC2: 受講者によるサイエンスイベント)

オンライン形式での実施例（令和3年度）



(SC1: 受講者によるディスカバリートーク)

※令和3年度はSC2が中止となりました。

※令和4年度以降は実施形態が変更となる可能性がございます。



大学生のための科学技術史講座

日本の科学技術史に関して、主に当館の研究者が講師となり、様々な分野からアプローチする全6回程度の講座です。令和4年度はオンラインで実施予定です。

- ・入会校の学生を優先的に受入れます。
- ・受講料通常 12,600 円のところ 6,300 円で受講いただけます。(予定)

※隔年で開講。(令和4年度は開講予定。)

※令和4年度は10月より、第2・4金曜日に実施予定。募集要項は6月頃に発表予定です。

※当講座の出席状況をご報告することも可能です。授業の一環としてもぜひご利用ください。

講義内容一覧 (令和2年度)

【日本の科学技術】

- 日本のものづくり文化論
- 日本の近代建築
- 出土遺物から探る科学技術
- 近代日本の科学と社会
- 人新世(アントロポシーン)と科学技術
- 過去から未来を考える



※令和2年度は、オンラインで実施しました。



大学生のための自然史講座

日本列島の自然史について、当館の研究者を中心に様々な分野からアプローチする講座です。自然史教養的な内容ですので、理工系学部以外の方でも科学や自然史に対する興味の幅を広げることが可能です。令和3年度は、全8回をオンラインで実施しました。

- ・入会校の学生を優先的に受入れます。
- ・受講料通常 16,800 円のところ 8,400 円で受講いただけます。

※隔年で開講。(令和4年度は開講しません。)

講座内容一覧 (令和3年度)

- 自然史を意識することで自分をちょっと変えてみよう!
- 日本列島はどのようにしてできたのか?
- 日本の中生界の陸上古動物相
- 現代生物学における生物観
- 日本の水域環境の多様性と固有種
- 多様性を生み出す進化のしくみ
- 日本列島にやってきた人々
- アジアにおける日本の生物相



※令和3年度は、オンラインで実施しました。



学芸員資格取得のための博物館実習

博物館学芸員の資格取得を目指す学生のために、調査研究・資料の収集保管について実習を行うAコースと、学習支援活動について実習を行うBコースの2コースを設けています。

- ・入会校の学生を優先的に受入れます。
- ・実習料通常 10,480 円のところ 5,250 円で受講いただけます。

※教材費実費として2,000円程度を別途徴収します。

※対象は大学生または大学院生です。

※募集要項は、例年1月末～2月上旬頃に各大学宛にご案内しています。

実習風景一例（令和元年度）



Aコース例：研究部での実習



Bコース例：学習支援活動の企画発表

※令和2、3年度は新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため全日オンラインで実施しました。



見学ガイダンス

大学のオリエンテーションや講義で国立科学博物館を利用してもらい、学生の皆様に博物館の楽しさや面白さ、見学方法を知ってもらうガイダンスを行っています。

令和2年度より、映像の貸し出しによる遠隔の見学ガイダンスにも対応します。来館前にあらかじめガイダンスを視聴していただいた上で、学生各自でご見学いただくということもできますので、ぜひご検討ください。

- ・入会校のみご利用いただけます。
- ・別途料金等は必要ありません。（無料でご利用いただけます）

＜博物館でのガイダンスの場合＞

- ※ 一度に受け入れられる人数に制限があります。
- ※ 実施は国立科学博物館上野本館の開館日となります。（8月はこのぞく）
- ※ 原則として、平日のみの実施とします。
- ※ 実施は、各入会校につき年2回までです。
- ※ 令和2、3年度は新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため遠隔のみの受け入れでした。

ガイダンスの内容例（令和元年度）

- 展示の見どころ紹介
- 博物館の研究活動
- 国立科学博物館の概要
- 学習支援活動
- 展示解説について
- 新入生オリエンテーション



3. 連携事業



大学パートナーシップ&お茶の水女子大学 連携事業 —海の自然史学的研究—

自然史に関する実習の機会をより広く提供するため、平成28年度より行っているお茶の水女子大学との連携事業で、大学パートナーシップ加入校の学生の優先枠を設け、参加者を募集いたします※1。令和4年度は、お茶の水女子大学湾岸生物教育研究センター(千葉県館山市)にて、宿泊を伴う対面実習を実施予定ですが、状況によりオンラインとなる可能性があります※2。

募集対象：大学の生物学関連学科に所属する学部学生

大学の自然科学系に所属する大学院生

実施時期：令和5年2～3月頃を予定

費用：実費負担。対面実習の場合、5泊程度の宿泊費・食費で1万円程度（実習場所までの交通費は自己負担となります）。オンラインのリモート実習の場合は、実験器具類などの返送料3,000円程度。

* 実施概要等詳細は、募集人数や具体的な実習内容を含め、決まり次第ホームページでお知らせします。

※1. お茶の水女子大学の特別聴講学生としての参加となります(「公開臨海実習(2単位)」履修相当)。学生教育研究災害傷害保険(もしくはそれに相当する保険)への加入が必要です。

※2. 本連携事業は、館山での対面実習を原則としますが、令和2年度は中止、令和3年度は、オンラインのリモート実習となりました。

【参考】 過去の館山での対面実習内容

1. 多様な環境(岩礁、砂泥底、海中等)に生息する海産動物の採集法
2. 形態観察に基づく種同定、研究用標本作製および博物館等での標本保存法
3. 新口動物の比較形態学——棘皮動物、頭索動物から脊椎動物(魚類)
4. ウニをモデルに海産動物の生活史の観察
5. 複数の動物群の発生・幼生形態を観察しながら系統関係を考察など



利用者の声

「国立科学博物館 大学パートナーシップ」利用者の声

本制度により当館を利用された学生のみなさまを対象としたアンケートでは、制度及び展示等に対するご好評を多数いただきました。その一例をご紹介します。

<「大学パートナーシップ」制度について>

- 常設展が無料・特別展は差額分で入場できるのは、行くハードルが下がってとても良い。
(大学3年)
- 国立科学博物館は、豊富な展示と解説のために1日では回り切れないことが多いが、本制度があるおかげで、時間を気にせず展示を見て、回れなかった所はまた別の日に見学することができるのでとてもいい制度だと感じる。
(大学1年)
- 大学パートナーシップがあることで、友達を誘いやすくなったり、初めて訪れるきっかけになったりするので、とても良い制度だと感じます。
(大学1年)
- ちょっと調べ物をしたくなった時など、入館料がかからないと気軽に利用できるのですごくいい制度だと思う。
(大学1年)

<当館をご覧になった印象、感想など>

○特別展「大英博物館ミイラ展 古代エジプト6つの物語」について

- どの展示も興味深く、展示や歴史についての説明が多くて分かりやすかったため、最初から最後まで非常に楽しめた。制度を利用してまた訪れたいと思った。
(大学3年)

○企画展「木組 分解してみました」について

- 木組みの展示はどれも良かったけれど、特に錦帯橋の展示が良かった。構造を実物で、すごく近くで見れるのがめっちゃめっちゃ面白かった。
(大学1年)

○展示について

- 日本館の歴史ある建物、特にドーム天井や階段室のステンドグラスが魅力的です。
(大学4年)
- 常設展の地球館3階に展示されている剥製は、圧巻のコレクション数で、1番のお気に入りです。
(大学2年)
- 何度来ても楽しめる、知的好奇心を刺激する施設だと思います。
(大学1年)

令和2年度の利用者数は、新型コロナウイルスの影響で延べ16,000人でしたが、令和元年度には延べ58,000人の利用者がありました。

上記の感想にみられるように、多くの方からご好評をいただいております。

全ての学生の科学リテラシー向上に資するという、本制度の趣旨をご理解いただき、ぜひともご入会をご検討下さいませようお願い申し上げます。

また、積極的利活用のために、貴学HP、SNS、学生便覧等でご紹介いただけましたら幸いです。

ご入会について

「国立科学博物館大学パートナーシップ」にご入会を希望される場合は、以下の項目をご確認の上、お手続きください。継続しての入会を希望される場合も、お手続きが必要です。



申込み単位

大学、短期大学、専修学校(専門課程)及びそれらを設置する法人を単位とした申込となります。学部・学科でのお申込についても、ご相談に応じます。



会員証

入会した大学・学校には、「国立科学博物館 大学パートナーシップ会員証」を発行します。



入会期間

「国立科学博物館 大学パートナーシップ会員証」発行日(令和4年4月1日)から令和5年3月31日までとします。

※新規入会の場合は、「国立科学博物館 大学パートナーシップ会員証」発行の日から令和5年3月31日までとします。



年会費

年会費は以下の表のとおりです。

学生数	1千人未満	1千人以上 2千人未満	2千人以上 5千人未満	5千人以上 1万人未満	1万人以上 5万人未満	5万人以上
	新規	157,150円	209,520円	261,900円	471,430円	942,850円
継続	136,190円	188,570円	240,950円	419,050円	838,100円	1,309,520円

〈学生数について〉

- ・ 学生数は、申込時直近の学校基本調査(文部科学省指定統計)に基づく在学者数とします。
- ・ 学生数には、大学院生、通信制課程、科目履修生等を含むことができます。
- ・ キャンパスの所在地が東京都、茨城県、埼玉県、千葉県、神奈川県以外の場合は、そのキャンパスに所属する学生数を2で除して得た人数(その人数に小数点以下の端数が生じたときは小数点以上に切り上げた人数)を学生数とします。

例) 東京上野キャンパス4,000人 + (沖縄キャンパス500人 ÷ 2) = 合計4,250人

☆「継続」の会費は、入会月から起算して1年以上ご入会いただいた翌年度のご入会から適用します。(令和4年度は、令和3年4月1日以前にご入会いただいた大学・学校が「継続」会費の対象となります。)

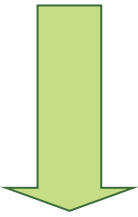
☆新規入会に限り、年度途中の入会にかかる当該年度の会費については、表の該当する年会費を12で除して得た額(その額に10円未満の端数が生じたときは10円に切り上げた額)に、入会日の属する月から当該年度末までの月数を乗じて得た額とします。



申込み手順

入会（新規・継続）を希望される大学・学校は、
電話またはメールで、下記担当まで入会（継続）希望の旨をご連絡いただき、
「入会申込書」に必要書類を添えて、郵送（またはメール）にてお申し込みください。

申込の準備



＜ご準備いただくもの＞

以下の該当書類をご準備いただくとともに、電話またはメールにて、下記連絡先まで
入会（継続）希望の旨、ご連絡ください。

①入会申込書※ ②学生証の見本 ③学校基本調査（お申込み時直近のもの）の
在学者数が明記された部分の写し ④学校要覧・入学案内等（新規ご入会校のみ）

※「入会申込書」はP11をコピーしてご利用いただくか、
大学パートナーシップのウェブサイトからダウンロードしてご利用ください。
<https://www.kahaku.go.jp/learning/university/partnership/>

申込書の送付



上記①～④を、申込み締切日までに、下記担当までお送りください。
（メールでの送付も受け付けています。）

（★「入会申込書」の受理を、申込書に記載の担当者様宛にメールでお知らせします。
入会日（令和4年4月1日）以降、大学パートナーシップ会員の特典をご利用ください。）

会員証等の送付 （5月頃）



「国立科学博物館 大学パートナーシップ会員証」と、学生数に応じた年会費の
「請求書」を担当者様宛にお送りします。（5月頃の発送を予定しています。）

年会費のお振込み （5月～6月頃）



「請求書」が届きましたら、記載された年会費を請求書の発行より1ヶ月以内に
当館指定の口座にお振込みください。



申込み締切日

継続申込の場合 電話・メール連絡：令和4年3月11日（金）まで
「入会申込書」等送付：令和4年4月 8日（金）まで

※在学生の皆様には引き続き特典を利用いただくため、お早めにご連絡ください。

※年会費の振込時期等につきましては別途ご相談を承ります。

新規申込の場合 「入会申込書」等送付：令和4年3月11日（金）まで

※「国立科学博物館 大学パートナーシップ 会員証」発行日から、会員特典（学生の無料入館
等）がご利用いただけます。まずは入会希望の旨をご連絡ください。

※締切日以降のお申し込みにつきましては、別途ご相談を承ります。



申込み・お問い合わせ先

〒110-8718 東京都台東区上野公園 7-20

独立行政法人 国立科学博物館 事業推進部 学習課 「国立科学博物館 大学パートナーシップ」担当

電話 03-5814-9876 FAX 03-5814-9898 E-mail upartner@kahaku.go.jp

* 当館ウェブサイト(<https://www.kahaku.go.jp/learning/university/partnership/>)でも、本制度を紹介
しております。

